



出雲教會神拜式



神道出雲教會少教主權中教正五位北島齊孝著

先手洗ひ漱ぶて身拭清め心と静め形

容端正よりて後詞を奏す

後詞

かけまくもかゝこきいイサナギ

大神神筑紫日向

たちむかひのまどはあまきくらん

みまもいしひたまひーとまひ

生坐後戸大神

等直正伊豆

生 聖 後 戸 大神
御心 以 過 犯
等 直 正 伊豆
たごちをぬきたちまきりこれ
ふしりありてやまをわらへる

罪 穢 有 後
給 清 給 申
たもいしあまのたましとまはせ
こと成すことまはせ

開 食 恐 恐
申
おんこもまはせ

次麻串成執と福を

後 狀 左 右
左 三 度 後 度 毎
後 給 清 給
おんこもまはせ

唱
おんこもまはせ

次二拜拍手

拜 狀 二 度 頭
おんこもまはせ

少唱平一

次二拜拍手

を拜と状び二さ度ま拍ひ頭ら一ら一

な症ま四く度よ手た拍び一成一ら一

次神舞をとばして舞む

か撰け卷ま恐く天ら之ま一ら一ら一ま一ら一ま一ら一

御中主
イナカヌシノ大お母神ら高み皇夕一カ一

ムスビノ産おほ大か神か皇ミ産ムスビ靈

ノ大おほ神う天ら照ま大テ御ラス神お母一ら一か一

方大ホクニ國ヌシ主ノ大おほ神う天み一アマ一

ホ穂ヒ日ノ大み命た産と土ウ大ブ神ス一ナ一おほ一

れ大おほ前ま謹し一と一つ一ら一み敬あ一ま一ひ一

か恐ら恐み一ら一し一ら一み一ら一ら一ら一

ま奉ら一く一と一ま申ま一ら一ら一

次謝恩詞を奏す

家内平穩親族
以ぬちおだのくくし
やしろせりま睦くくしや
くたぬ樂ぶ代あり有か經ハ

専大等
もろろおほ神とたぢ
御惠いぬ有な有りけ
か故き現ろ世ー退ま有る

後魂撫
のろれたま給ひ長も久あ久で
ろ慈く給こ長たま久ひ久と久き久ー久
あ神に列い今ろ今れ今ぶ今た今い今ろ今ー今あ今ハ今

給宅守神
たま給ひ宅い守の神ま守ゆ神り神か神み神け神と神
な令ま成ー給め産たま子ひ子い子ろ子の子い子れ子
な彌ま繼ー々ま護ま幸い幸ろ幸の幸い幸れ幸

可穴那比助
ち可ぬ穴ぬ那く比ら助な助い助す助け助
給樂勸
たま給ひ樂い勸た勸ぬ勸ー勸い勸ろ勸の勸い勸ろ勸の勸
盡事無神御門
た盡ま事い無た神ぬ御ー門い門ろ門の門い門ろ門の門

とくぬほく^可ら^穴は^那い^比す^助け
た^給ま^樂い^勸た^御め^門ー^盡し^事ら^無る^神こ^御の^門
つ^盡く^事ら^無く^神が^御た^門れ^門い^門と^門ん

令^仕奉^奉ま^將さ^給し^給て^給ま^給す^給こ
事^事に^喜ま^喜し^喜ら^喜し^喜て^喜ま^喜す^喜こ
た^稱ま^稱さ^稱し^稱て^稱ま^稱す^稱こ
た^稱ま^稱さ^稱し^稱て^稱ま^稱す^稱こ

心^心あ^和ら^和ば^和ら^和し^和て^和ま^和す^和こ
食^食せ^恐と^恐か^恐ら^恐し^恐て^恐ま^恐す^恐こ
ま^申は^申ら^申し^申て^申ま^申す^申こ

次神語と三度唱ふ

幸^幸ひ^魂ま^魂さ^魂し^魂て^魂ま^魂す^魂こ
守^守り^給た^給ま^給し^給て^給ま^給す^給こ

次二拜拍手

拜^拜む^拜し^拜て^拜ま^拜す^拜こ
状^状ま^前さ^前し^前て^前ま^前す^前こ

欠^欠る^欠こ^欠し^欠て^欠ま^欠す^欠こ

さびたうほくみたま
守 まもつたまひさまいそくたま
給

次二拜拍手

まごむじまのまへにおけ
拜 状 前 同

次祈ることちよびまそれ由致白

てさういのみじり

明治三十三年七月三日刻成
今 年七月十五日出版

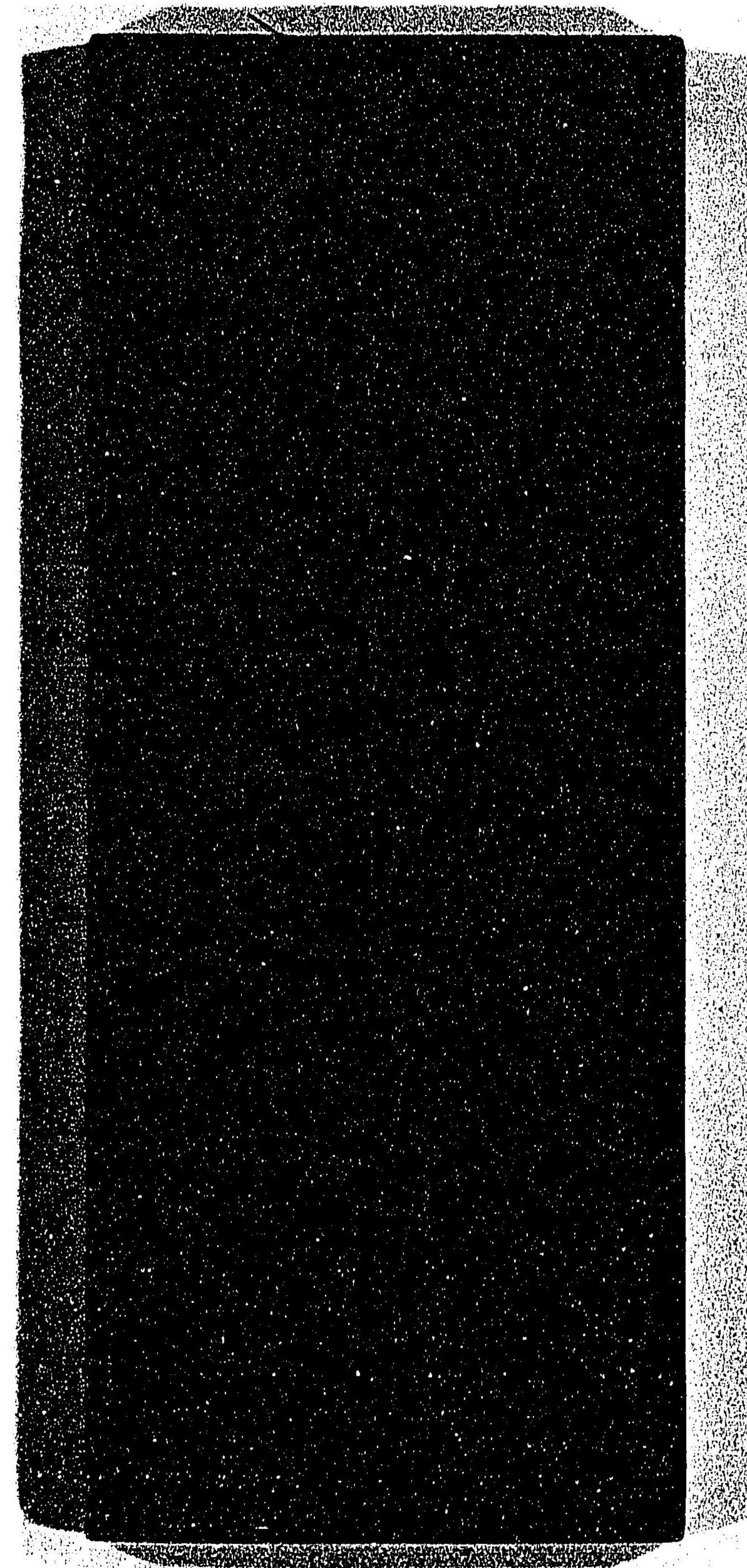
定價六錢

著作者兼発行者 北島齊孝

島根縣出雲國神門郡
杵築町住

印刷者

足利金治郎
全縣松江市雜賀住



特55
852

出雲教会神拝式

013818-000-5

特55-852

出雲教会神拝式

北島 齊孝/著

M23

ABB-0027

